

番号	3		
一般教育科目	人文科学	文学	
授業名	文学	対象学年： 1学年	単位数： 2単位 講義形態： 講義
講義時期	後期	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	松岡 幸司		
授業の達成目標	頭の中で「わかった」と思っても、実は「わかっていない」ことが多い。そこで本講義では自分の理解を「書いて確認する」作業を重視する。毎回の講義の最後に、その回の授業の「ふりかえり」を書くことで自分の理解を確認するとともに、レポートの作成においても自己理解と他者理解の確認を行う。それによって「自分の理解を書いて伝えることができる」ようになる。		
概要	読書という行為は作品との「対話」である。そこには作品という「他者の理解」とそれを讀んだ「自分の理解」が連動している。そうやって理解されたことを確認するための良い方法は、他人と話したり自分で書いたりすることである。そこで本講義ではグループワークや「書くという作業」を行い、講義や読書を通して理解・発見したことを自己確認できるようにしていく。		
テキスト	宮澤賢治 『セロ弾きのゴーシュ』 角川文庫		
参考書	授業中に随時紹介するほか、毎回講義のテーマに合った作品を紹介していく。		
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してくるべき内容を示す。事後学習として、各時間の講義内容を復習する必要がある。		
成績評価の基準	<p>評定については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している（評点が95点以上で特に優秀な者）</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある（評点が80点以上95点未満の者）</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある（評点が70点以上80点未満の者）</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある（評点が60点以上70点未満の者）</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある（評点が60点未満の者）</p>		
成績評価の方法	毎回の受講シートの内容(40%)と、2回の小レポート(30%)、学期末レポート(30%)を総合して評価する。成績の評定は100点法をもって行い、60点未満を不合格とする。総合した成績が60点に達しないときは、原則として1回に限り追試験を認める。		
メッセージ	私は信大農学部林学科の卒業生で、もともとは「文学」なんて縁がなかったのですが、なぜか「環境文学」というものを専門にしています。読書を通して他の人の感じ方を知りつつ、同時に自分の感じ方をはっきりとさせていきましょう！		
展開	講義名	講義内容	
1	「文学」というあいまいな言葉	「文学」というあいまいな概念についての理解を深める。	
2	「読書」という行為	「読書」という行為の持つ意味について理解を深める。	
3	読書における自己理解と他者理解	読書における自己理解と他者理解について考える。	
4	書くということ(1)	自分にとっての名作に関する自己理解と他者理解について考え、レポートに備える。(小レポート[1] 出題)	
5	文学の世界	文学作品に関わる、あるいは含まれる要素について理解を深める。	
6	宮澤賢治の世界	宮澤賢治の人生とその背景について理解を深める。	
7	「やまなし」を読む	宮澤賢治の童話作品を読む。自分の感想を大切にしつつ、他の読み方を知り、自己理解と他者理解の方法について考える。	
8	「雪渡り」を読む		
9	「オツベルと象」を読む		
10	書くということ(2)	ここまで授業をふりかえり、確認しつつレポートに備える。(小レポート[2] 出題)	
11	「グスコブドリの伝記」を読む(1)	宮澤賢治の童話作品を読む。自分の感想を大切にしつつ、他の読み方を知り、自己理解と他者理解の方法について考える。	
12	「グスコブドリの伝記」を読む(2)		
13	「セロ弾きのゴーシュ」を読む(1)		
14	「セロ弾きのゴーシュ」を読む(2)		
15	書くということ(3)	ここまで授業をふりかえり、確認しつつレポートに備える。(学期末レポート出題)	

番号	4		
一般教育科目	社会科学	法学	
授業名	法学	対象学年： 1学年	単位数： 2単位 講義形態： 講義
講義時期	前期	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	<p>情報公開・法務課担当職員 (県の法規担当課での経験を活かし、実例に即して法学の基本的事項について講義し、学生が法学を具体的イメージを持って理解できるようにします) 木曾税務署担当職員</p>		
授業の達成目標	①法学における基本的な思考方法を理解する ②法解釈や法適用の実例を通じて、ものごとを論理的に考える力を身につける ③日々発生する身近な紛争をどのように解決できるか、解決すべきかについて考えることができるようになる		
概要	六法を中心に法的解釈について学ぶ		
テキスト	ポケット六法		
参考書	なし		
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してきてべき内容を示します。事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	評定については次の評価基準を基本としています。 秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している（評点が95点以上で特に優秀な者） 優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある（評点が80点以上95点未満の者） 良：授業の達成目標の水準よりやや上にある（評点が70点以上80点未満の者） 可：授業の達成目標の水準にある（評点が60点以上70点未満の者） 不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある（評点が60点未満の者）		
成績評価の方法	原則として筆記試験及び履修態度による評価とする。 試験成績の評定は100点法をもって行い、60点未満を不合格とする。 試験の成績が60点に達しないときは、原則として1回に限り追試験を認めます。		
メッセージ	法学の初心者で、初めて法学を勉強しようとする人達にもわかりやすく		
展開	講義名	講義内容	
1	法学	法律学とは	
2	〃	法律の全体像をつかむ	
3~4	憲法	日本国憲法	
5	民法	民法総則	
6	〃	民法総則	
7	〃	物権法	
8	〃	物権法	
9	〃	債権法	
10	〃	債権法	
11~12	税法	所得税法、相続税法など	
13~14	その他の法律	不動産登記法、労働基準法、森林法など	
15	試験		

番号	6		
一般教育科目	社会科学	経済学	
授業名	経済学	対象学年： 1学年	単位数： 2単位 講義形態： 講義
講義時期	通期	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	ウェステニウス 嘉晃		
授業の達成目標	マクロ経済学の基本的な知識を獲得して、現実で観測される経済現象を解釈することができるようになる。		
概要	この講義では、マクロ経済学の基本的な知識について、教科書に基づきながら次のとおり説明します。第一に、一国における経済活動の規模を把握するうえで重要となる経済統計について説明します。第二に、経済統計に現れる一国経済の特徴を長期的に決定づける要因について解説します。第三に、一国経済において経済活動の規模が短期的に変動する現象や、金融財政政策の短期的な効果についての解説を行います。		
テキスト	講義スライド		
参考書	N・グレゴリー・マンキュー(著)、片桐 満/篠 潤之介/溝口 哲郎(訳)、マンキュー経済学II マクロ編、第5版、ISBN:9784807918133、東京化学同人(ただし、授業資料は以下の「第4版」に基づいています)：N・グレゴリー・マンキュー(著)、足立 英之/石川 城太/小川 英治/地主 敏樹/中馬 宏之/柳川 隆(訳)、マンキュー経済学II マクロ編、第4版、ISBN:9784492315200、東洋経済新報社)		
事前事後の学習	授業の内容を理解し、単位を取得するためには、授業資料や教科書の内容を暗記するだけでは不十分です。授業に対応する教科書中の例題を実際に解いてみるなどの練習を繰り返すことが、授業内容を習得する上で役に立つはずですが。		
成績評価の基準	<p>評価については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者)</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者)</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者)</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者)</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)</p>		
成績評価の方法	最終授業時の試験で成績を評価する。		
メッセージ	メールにて質問を受け付けます。 E-mail:westenius@shinshu-u.ac.jp		
展開	講義名	講義内容	
1	日本経済の現況	一国経済の経済状況の把握の仕方を理解する。	
2	国民所得の測定	マクロ経済統計について理解する。	
3	生計費の測定	物価指数について理解する。	
4	生産と成長	経済成長について理解する。	
5	貯蓄・投資と金融システム	経済における金融取引について理解する。	
6	失業	労働市場について理解する。	
7	貨幣システム	貨幣の機能について理解する。	
8	貨幣量の成長とインフレーション	貨幣の流通量と物価の変化について理解する。	
9	開放経済のマクロ経済理論	国家間の経済取引について理解する。	
10	経済の総需要と総供給	経済取引の総計について理解する。	
11	経済活動の短期的変動	景気循環について理解する。	
12	総需要に対する金融政策の影響	金融政策について理解する。	
13	総需要に対する財政政策の影響	財政政策について理解する。	
14	インフレ率と失業率の関係	景気循環における失業について理解する。	
15	マクロ経済政策に関する論争	経済政策の限界について理解する。	

番号	7		
一般教育科目	自然科学	数学	
授業名	数 学	対象学年： 1 学年	単位数： 2 単位 講義形態： 講義
講義時期	前 期	実務経験教員による講義の有無： 無	備考：
担当講師	水野 弘基		
授業の達成目標	① 三角法や図形の基礎知識を習得し、その応用力も身につける。 ② 三角法の活用を通して計算法則や正確な計算処理を身につける。 ③ 三角法や図形の性質を学ぶことを通して数学的なものの見方、考え方を理解する。		
概 要	三角法（三角比・三角関数）や図形について、考え方や法則を学ぶ。		
テキスト	三角比と図形の集中講義 （東京出版）		
参 考 書			
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習すべき内容を示します。事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	評価については次の評価基準を基本としています。 秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している（評点が95点以上で特に優秀な者） 優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある（評点が80点以上95点未満の者） 良：授業の達成目標の水準よりやや上にある（評点が70点以上80点未満の者） 可：授業の達成目標の水準にある（評点が60点以上70点未満の者） 不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある（評点が60点未満の者）		
成績評価の方法	毎回の受講シートの内容(40%)と、筆記試験(60%)を総合して評価します。成績の評定は100点法をもって行い、60点未満を不合格とします。総合した成績が60点に達しないときは、原則として1回に限り追試験を認めます。		
メッセージ	√計算など計算法則を初心から学ぶように復習を取り入れながら、分かりやすく説明します。		
展 開	講義名	講義内容	
1	三角比①	三平方の定理・三角比の導入	
2	三角比②	三角比の基礎	
3	三角比③	三角比の拡張（鈍角の三角比）・相互関係	
4	三角比の応用①	正弦定理とその応用	
5	三角比の応用②	余弦定理とその応用	
6	三角比の応用③	正弦定理・余弦定理	
7	三角比の応用④	三角形の面積	
8	三角比の応用⑤	図形の計算	
9	三角比の応用⑥	測量	
10	三角比の応用⑦	三角関数	
11	図形の性質①	三角形の性質	
12	図形の性質②	円の性質①	
13	図形の性質③	円の性質②	
14	図形の性質④	空間図形	
15	試験		

番号	8		
一般教育科目	自然科学	物理学	
授業名	物理学	対象学年： 1 学年	単位数： 2 単位 講義形態： 講義
講義時期	通 年	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	花井 嘉夫 (長野県立高校での物理科目講義経験を生かし、物理学の基礎知識を身につけ物理概念を理解できるように指導する)		
授業の達成目標	①物理の運動と力やエネルギーの関係について理解できる ②物理に関係する林業事象について、物理の知識技能を応用できる力を身につける ③物理学の学習を通じて、科学的な見方・考え方を育成する		
概要	運動・力学・エネルギーを中心とした理解と演習		
テキスト	「考える 物理基礎」マイノート付 啓林館		
参考書			
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してくるべき内容を示します。事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	<p>評定については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者)</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者)</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者)</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者)</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)</p>		
成績評価の方法	原則として筆記試験及び履修態度による評価とする 試験成績の評定は100点法をもって行い、60点未満を不合格とする 試験の成績が60点に達しないときは、原則として1回に限り追試験を認めます。		
メッセージ	初めて学ぶ者にもわかりやすく、また数学的解法についてもわかりやすく説明する		
展 開	講義名	講義内容	
1	一次元の運動 (1)	1) 等速度運動 2) 問題解法	
2	一次元の運動 (2)	1) 等加速度運動 2) 問題解法	
3	一次元の運動 (3)	1) 落下運動 (1) 2) 問題解法	
4	二次元の運動 (1)	1) 落下運動 (2) 2) 問題解法	
5	二次元の運動 (2)	1) 落下運動 (3) 2) 問題解法	
6	力 (1)	1) 力のつりあい 2) 問題解法	
7	力 (2)	1) 運動の法則 2) 問題解法	
8	力 (3)	1) 摩擦 2) 問題解法	
9	力 (4)	1) 力のモーメント 2) 問題解法	
10	エネルギー (1)	1) 力学的エネルギー保存の法則 (1) 2) 問題解法	
11	エネルギー (2)	1) 力学的エネルギー保存の法則 (2) 2) 問題解法	
12	エネルギー (3)	1) 熱エネルギー 2) 問題解法	
13	エネルギー (4)	1) 電気エネルギー (1) 2) 問題解法	
14	エネルギー (5)	1) 電気エネルギー (2) 2) 問題解法	
15	試験	まとめ	

番号	10		
一般教育科目	自然科学	生物学	
授業名	生物学	対象学年： 1学年	単位数： 2単位 講義形態： 講義
講義時期	前期	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	高田 啓介 (信州大学での講義経験を生かし、生物学の知識を身につけられるよう身近な生き物を例に、わかりやすく指導します。)		
授業の達成目標	生命の本質である自己維持と自己複製の機構についての基礎概念を理解する		
概要	生物学の基礎を学ぶ		
テキスト	「コア講義生物学」 田村隆明著 裳華房		
参考書	「生物学」 石川 統 編 東京化学同人		
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してくるべき内容を示します。 事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	<p>評定については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者)</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者)</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者)</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者)</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)</p>		
成績評価の方法	授業中に不定期に行う小テストや、宿題として出されたレポート、及び期末筆記試験を基に成績評価を行う。100点法で評価を行い、60点未満を不合格とする。 試験の成績が60点に達しないときは、原則として1回に限り追試験を認めます。		
メッセージ	生命の本質を理解し、ヒトと自然との調和を目指そう		
展開	講義名	講義内容	
1	生物の種類	1) 生命の誕生 2) 種とは 3) 3ドメイン説	
2	遺伝と遺伝子	1) メンデルの法則 2) 連鎖 3) 遺伝物質の探求	
3	細胞とそれに含まれる物質	1) 生物の基本単位：細胞 2) アミノ酸とタンパク質 3) ヌクレオチドと核酸	
4	DNA複製と細胞の増殖	1) 染色体とクロマチン 2) DNA複製のしくみ 3) 細胞分裂	
5	DNAにある遺伝情報を取り出す：遺伝子発現	1) RNA合成「転写」 2) 転写の調節 3) 蛋白質合成「翻訳」	
6	次世代個体を誕生させる：生殖と発生・分化	1) 生殖：個体の増殖 2) 配偶子の形成 3) 動物の発生：受精卵から胚、成体への成長	
7	生命を支える化学反応	1) 栄養と代謝 2) グルコースからエネルギーを取り出す 3) 生命活動におけるエネルギー通貨：ATP	
8	動物の器官	1) 消化器系：消化と吸収 2) 腎臓：体液の調節と毒素の排出 3) 筋肉：エネルギーを運動に変える	
9	多細胞生物個体の統御	1) 恒常性の維持 2) 神経系 3) ホルモン	
10	外敵の侵入とその防御	1) 細菌 2) ウイルス 3) 免疫	
11	植物の生き方	1) 光合成 2) 窒素同化 3) 種子植物の生殖	
12	生物の集団と生き方	1) 個体群の増殖戦略 2) 個体群間の相互作用 3) 生物群集の構造	
13	生物の進化	1) 生物の出現 2) 生物の進化 3) ヒトの起源	
14	先端バイオ技術と社会のかかわり	1) 遺伝子を操作する 2) 細胞を操作する 3) 個体や人間への応用	
15	試験		

番号	11-1		
一般教育科目	自然科学	情報処理学	
授業名	情報処理学 1	対象学年： 1学年	単位数： 2単位 講義形態： 講義
講義時期	後期	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	松村 哲也 (信州大学農学部における教育研究情報システムの構築・運用・管理・教育業務に携わった実務経験ならびに、信州豊南短期大学・信州木曾看護専門学校における情報処理分野の講義経験を生かし、コンピュータとインターネットの活用法を身につけられるよう実践的に指導します。)		
授業の達成目標	① 滑らかでスピーディな文字入力ができる。 ② 安全なインターネットの利用法について理解し、他者に説明できる。 ③ MS Word ,Excel , Powerpointの基本操作を習得する。 ④ 動画の撮影・編集・制作の基本技術を習得する。 ⑤ 動画を活用したプレゼンテーション技術を習得する。		
概要	WindowsPCの操作に慣れることから始め、インターネットの安全な活用法と、Office (Word、Excel、Powerpoint)の基礎を身に付けるとともに、動画を活用したプレゼンテーション技術を実習形式で学びます。		
テキスト	できるWord&Excel & PowerPoint2024Copilot対応 Office2024 & Microsoft365版 井上香緒里他 インプレス		
参考書			
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してこべき内容を示します。事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	評定については次の評価基準を基本としています。 秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者) 優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者) 良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者) 可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者) 不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)		
成績評価の方法	原則として、筆記試験・製作物および履修態度にて成績を評価します。成績の評定は、100点法をもって行い、60点未満を不合格とします。試験の成績が60点に達しないときは、原則として1回に限り追試験を認めます。		
メッセージ	農林業の分野でも、スマホ、パソコン、インターネットといったICTの活用が当たり前になってきました。実際にスマホやPCを操作しながら基本的な知識と技術を身に付けましょう。		
展開	講義名	講義内容	
1	情報処理の歴史	「情報処理」とは／機械を使った情報処理／コンピュータの発明と進歩／現代のコンピュータ	
2	Windowsの基本操作	起動・終了／キーボードとマウスの使用法／ファイルシステム／コピーと移動／カット&ペースト	
3	WordとExcelの基本操作 1	MS-Officeアプリ (Word & Excel) 共通操作の習得	
4	WordとExcelの基本操作 2	画像・グラフ・罫線の組み込み／企画書の作成	
5	インターネットを安全に活用する 1	インターネットの構造／コンピュータウイルスの被害	
6	インターネットを安全に活用する 2	インターネット犯罪対策／法律への準拠	
7	動画の制作とWebサービスの活用 1	スマートホンを活用した動画の制作・編集	
8	動画の制作とWebサービスの活用 2	動画を用いた情報発信	
9	Powerpointでプレゼンテーション	画像・グラフの組み込み／アニメーション／プレゼンテーション資料の作成	
10	Web検索と生成系AIを活用した情報収集	正確な情報を選び分ける能力「情報リテラシー」	
11	試験		
		※進度に応じて授業内容を調整することがあります。	

番号	11-2		
一般教育科目	自然科学	情報処理学	
授業名	情報処理学 2	対象学年： 2 学年	単位数： 2 単位 講義形態： 講義
講義時期	通 年	実務経験教員による講義の有無： 無	備考：
担当講師	岡田 充弘 (県職員の経験を生かした基礎及び実践までの実務教育を行います。)		
授業の達成目標	文書作成・表計算・プレゼンテーション機能の応用技術を習得している。		
概要	Word、Excel、Powerpointの応用として実際に資料を作成する。		
テキスト	トップスタジオ(著)『世界一やさしいワード2021』(株)インプレス トップスタジオ(著)『世界一やさしいエクセル2021』(株)インプレス		
参考書			
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してくるべき内容を示します。 事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	<p>評定については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者)</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者)</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者)</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者)</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)</p>		
成績評価の方法	1) 実技、2) 履修態度、3) 修得度により成績を評価します。 成績の評定は100点法をもって行い、60点未満を不合格とします。		
メッセージ	実際にパソコンソフトの操作を習得して、即戦力になる技術で資料を作成しましょう		
展 開	講義名	講義内容	
1	Windowsの基本操作確認	1. Wordでの簡易な文書作成 2. Excelでの簡易な計算表作成	
2	ビジネスメールの作成	1. ビジネスメールの基礎と 2. 相手に伝わりやすいメールとメールを使う場合のExcelでの簡易な計算表作成	
3	Wordで文書作成(応用)	Wordの機能を活用した文書(報告書等)作成	
4	Excelで表計算、グラフ作成(応用)	関数等を用いた計算、グラフの作成の応用	
5	CADの基礎	1. CADの基礎 2. CADを使って、図表を描画する	
6	PowerPointでプレゼンテーション作成(応用)	1. 相手に伝えるプレゼンテーション資料作成の基礎 2. プレゼンテーションソフトの機能の利用	
7	PowerPointでプレゼンテーション作成(応用)	1. 自主研究発表会資料作成 2. 相手に伝えるための発表方法	
6	試験	自主研究発表会での発表、報告書の作成	
	※履修状況に応じて講義の内容を変更します		

番号	12-1		
一般教育科目	外国語	英語	
授業名	英語 1	対象学年： 1 学年	単位数： 2 単位 講義形態： 講義
講義時期	通期	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	Dean Havixbeck (カナダ出身の講師によるネイティブな英会話講義をします。)		
授業の達成目標	日常的な話題について英語で会話ができる。		
概要	日常的な話題について英語で会話する。		
テキスト	Four Courner Secound edition Level1 Student's Book with Digital Pack Richards, Jack C. /Bohlke, David ケンブリッジ大学出版局		
参考書	辞書を持参すること。		
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してくるべき内容を示します。 事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	<p>評定については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者)</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者)</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者)</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者)</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)</p>		
成績評価の方法	原則として筆記試験及び履修態度による評価とする。試験成績の評定は100点法をもって行い、60点未満を不合格とする。		
メッセージ	授業には毎回出席すること。テキストとノート、辞書を持参すること。		
展開	講義名	講義内容	
1	Guidance	Guidance	
2	New Friends	Asking for names, spelling names	
3	New Friends	Talk about where people are from and what they do	
4	People and Places	Ask for and say nationalities, phone numbers and email	
5	People and Places	Identify and give information about family members and friends, ages	
6	What's that?	ask about and identify everyday items, English words	
7	What's that?	Talking about clothes, possessions, describe favorite things	
8	Daily Life	Describe how people get around, telling time	
9	Daily Life	Ask and answer questions about routines, weekend plan	
10	Free time	Taking about habits, accept and decline help	
11	Free time	Ask and answer questions about leisure activities, technology use	
12	Work and Play	Identfy and talk about jobs. Phone use. Waiting	
13	Work and Play	Describe talents and abilities, talk about study and work programs	
14	Review	Review	
15	試験		

番号	12-2		
一般教育科目	外国語	英語	
授業名	英語 2	対象学年： 2 学年	単位数： 2 単位 講義形態： 講義
講義時期	通期	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	Dean Havixbeck (カナダ出身の講師によるネイティブな英会話講義をします。)		
授業の達成目標	英語1につづき、日常的な話題について英語で会話ができる。		
概要	日常的な話題について英語で会話する。		
テキスト	「English Listening and Speaking Patterns 1」 Andrew E. Bennett著 (Nan' un-do)		
参考書	辞書を持参すること		
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してこべき内容を示します。 事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	<p>評価については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者)</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者)</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者)</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者)</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)</p>		
成績評価の方法	原則として筆記試験及び履修態度による評価とする。試験成績の評価は100点法をもって行い、60点未満を不合格とする。		
メッセージ	授業には毎回出席すること。テキストとノート、辞書を持参すること。		
展開	講義名	講義内容	
1	Guidance	Guidance	
2	Traveling	Recent events and events happening soon	
3	Music I	Asking and telling people to wait	
4	Music II	What kind of music do you like?	
5	Movies	Talking about good news	
6	Shopping	Softening phrases	
7	Internet	Teaching and learning skills	
8	Weather	Talking about future weather	
9	Feelings	Understanding each other	
10	Government	What everybody and nobody is doing	
11	Art	Talking about art	
12	The future I	Weighing sides	
13	The future II	Explore an aspect of future life	
14	Review	Review	
15	試験		

番号	13		
一般教育科目	芸術	芸術	
授業名	彫刻	対象学年： 1学年	単位数： 1単位 講義形態： 実習
講義時期	後期	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	横山 忠 (数多くの仏像を彫った知識を生かして、仏像彫刻の愉しみを伝えます。)		
授業の達成目標	仏像彫刻を通して木材の特性を習得する。		
概要	様々な道具を使い仏像（立体像）の彫刻に取り組む。		
テキスト	講師作成資料		
参考書	独自作成資料		
事前事後の学習	実習に備え十分な事前準備を行うこと。		
成績評価の基準	<p>評価については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している（評点が95点以上で特に優秀な者）</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある（評点が80点以上95点未満の者）</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある（評点が70点以上80点未満の者）</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある（評点が60点以上70点未満の者）</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある（評点が60点未満の者）</p>		
成績評価の方法	1) 実技、2) 成果品、3) レポート、4) 履修態度の修習得度60%、出席時間(態度良に限る)40%、「目標」の意に適合しておれば、作品の出来栄は問わない。作成態度を重視する。成績の評定は100点法をもって行い、60点未満を不合格とする。		
メッセージ	この授業はプロになる為のものでなく、立木や材木に携わる人の、根源的心構えを自覚して頂く。		
展開	講義名	講義内容	
1	第一段階	彫刻刀を手にした時の、基本的な心得	
2	木取り	仏像の木取り	
3	輪郭を決める		
4	細部へ	マンツーマン方式による実技指導	
5	仕上げ	<p>1) チリメン彫り</p> <p>2) 仕上がりの良さ、美しさ、迫力に力点</p> <p>3) 各自の彫った仏が、君に何を語りかけているのか？を問う。</p>	

番号	14		
一般教育科目	保健体育	保健体育	
授業名	保健体育	対象学年： 全学年	単位数： 1単位 講義形態： 実習
講義時期	通 年	実務経験教員による講義の有無： 無	備考：
担当講師	学年担任		
授業の達成目標	森林・林業界にて活躍できる基本的な体力と、チームワーク形成能力を身につける。		
概要	有酸素運動など基礎トレーニングと球技などチームワーク形成に役立つ競技を行う。		
テキスト			
参考書			
事前事後の学習			
成績評価の基準	<p>評定については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している（評点が95点以上で特に優秀な者）</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある（評点が80点以上95点未満の者）</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある（評点が70点以上80点未満の者）</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある（評点が60点以上70点未満の者）</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある（評点が60点未満の者）</p>		
成績評価の方法	出席時間(態度良に限る)40%、体力維持・向上努力40%、技能・技術20%とし、総合評価を行い、成績評定は100点法をもって行い、60点未満を不合格とします。		
メッセージ	社会人として長く健康で働くには、基礎体力の維持・増進が大切です。決してハードではなく、日常的に運動する習慣を身につけましょう。		
展 開	講義名	講義内容	
1・2	体力テスト	基礎体力の測定及び持久走(3km程度) 等	
3・4	ストレッチ、ジョギング	林大周辺	
5・6	バスケットボール、硬式テニス	木曽町 町民体育館・テニスコート	
7・8	ソフトボール	本校グラウンド・木曽町野球場	
9・10	バレーボール	木曽町 町民体育館	
11・12	バドミントン	木曽町 町民体育館	
13・14・15	持久走(3km程度)	幸沢林道(木曽町駅伝大会選手選考会を兼ねる。)	